

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 教授
氏名 Name	今井 忍
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語の形態法に関する認知言語学的研究
<p>28 年度は、日本語の除去動詞の意味的・統語的特徴について考察した。特に、英語の wipe 型動詞と日本語の「拭く」「こする」「磨く」といった動詞との意味的特徴と構文的特徴の違いについて調査を行い、前者が単独で使われる場合には「ホコリ」「汚れ」といった〈分離体〉を目的語として取れないのに対して後者は単独でも取れる場合が多いこと、英語における句動詞と日本語における複合動詞の構文は〈分離体〉を目的語として取る傾向があることを明らかにした。この成果は、3 月 23 日に開催された「第 6 回 インドネシア人研究者との合同研究発表会」（於日本語日本文化教育センター）において「日本語の除去動詞の特徴について」というタイトルで研究発表を行った。</p> <p>Onomasiological Approach による語種の研究は文献の調査とデータ収集を行っているところである。29 年度には成果を公表する予定である。</p>	